

3 - 10 伊豆半島における地下水温の連続測定 (2)

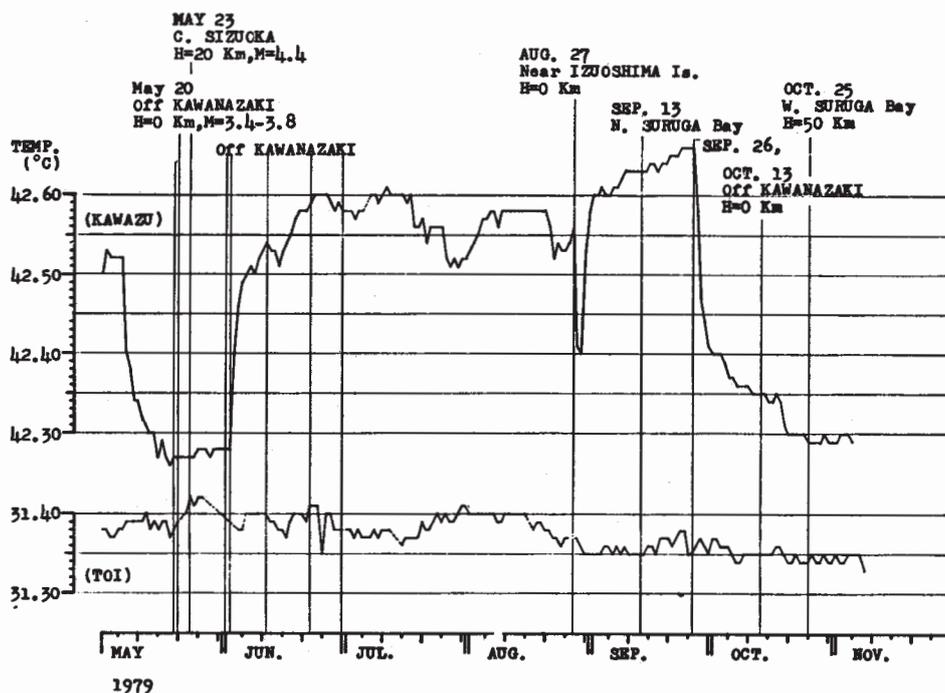
The Continuous Observations of Water Temperatures in Ground-Water in the Izu Peninsula (2)

京都大学理学部地震予知観測地域センター
浅田 照行
Teruyuki Asada
Regional Observation Center for Earthquake Prediction,
Faculty of Science, Kyoto University

前報 (連絡会会報, 第22巻 (1979), 86 - 89) に引き続き, 地下水の温度変化について報告する。

第1図に, 1979年5月から11月までの温度変化と地震を示す。河津において, 5月20日に川奈崎沖で発生した群発地震 ($M=3.4 \sim 3.8$) の前に急低下した泉温は, 6月2日から5日にかけて急上昇し, 低下前の泉温に戻った。以後, 顕著な地震は発生していないが, 8月27日から31日にかけて短期間の急低下・上昇があり, その後幾分上り気味だったが, 9月26日に急低下を始め, 10月下旬までに約 0.35°C 低下し, 11月現在, 低下した状態が続いている。この低下が何を意味しているのか, 今の所分からない。

土肥及び蓮台寺においては, 河津に見るような変化はない。



第1図 土肥と河津の泉温の変化と伊豆地方の地震活動との関係

Fig. 1 Relation between the seismic activities near Izu Peninsula and the water temperature at the self-spouting hot spring at Toi and Kawazu.